

# 生ごみ

週2回収集



## 生ごみ指定袋 (ピンク系半透明)

サイズ	販売価格 (10枚入り)
小(約10ℓ)	100円
極小(約5ℓ)	50円
超極小(約2ℓ)	20円



このシールが貼ってあるお店で購入してください。

## ●出し方

よく水切りをしてから、生ごみ用の指定袋に入れて、口を結んで、決められたごみステーションに収集日の午前8時までに出示しましょう。生ごみを水切りネットや透明または半透明のポリ袋に入れてから、指定袋に入れてもかまいません。発酵の妨げとなるため、生ごみは新聞紙などの紙で包まないでください。

\*生ごみは、燃やすごみの収集日に「燃やすごみ用」指定袋に他の燃やすごみと一緒に入れて出すこともできます。

## ●主な生ごみ

<b>野菜</b> <p>野菜の枝・茎は燃やすごみ</p>	<b>惣菜</b> 	<b>果物</b> 	<b>菓子類</b> 
<b>穀類</b> 	<b>肉</b> 	<b>魚</b> 	<b>調理くず</b> 
<b>枝豆のさや</b> 	<b>栗の皮</b> 	<b>ピーナッツの殻</b> 	<b>茶殻・コーヒー殻</b> ティーパックごとOK コーヒー殻の入ったフィルターもOK 

## 水切りのポイント

- ポイント1 野菜の皮むきは、洗う前に行く。
- ポイント2 お茶がらやティーパックなどは手で絞る。
- ポイント3 三角コーナーを傾け、一晩置く。



=収集日は、「ごみ収集カレンダー」をご覧ください=

## ！これらは、「生ごみ」には出せません。燃やすごみに出しましょう。

<b>貝殻・カニの殻</b> 	<b>トウモロコシ・タケノコの皮・笹団子の笹</b> 	<b>野菜の枝・茎 (食べない部分)</b> 
<b>理由</b> 生ごみは、発酵させ、バイオガスとして、発電に利用します。分解しにくいものや発酵に適さないものは、機械の故障につながるため、「燃やすごみ」で出してください。	<b>固化した食用油</b> 	<b>くるみの殻</b> 

## 《生ごみの収集日に「紙おむつ類」を出す場合》

紙おむつ類は、生ごみの収集日にも出すことができます。「燃やすごみ用」指定袋に入れて紙おむつの絵を○(丸印)で囲み、口を結んで出示しましょう。

\*尿とりパッド、生理用品、ペットシート、お尻拭きも出せます。このほかの燃やすごみは入れないでください。



## ◆生ごみと燃やすごみの収集

<b>生ごみの収集日</b> 月曜日・金曜日	紙おむつ類のみOK ほかの燃やすごみは入れないでください 
<b>燃やすごみの収集日</b> 水曜日	可燃 {紙おむつ類・生ごみ}も入れてOK

## Q&A

Q. エビ・卵の殻は「生ごみ」?

A. 「生ごみ」です。

Q. 野菜の枝・茎・つるは「生ごみ」?

A. 「燃やすごみ」です。

Q. 電動生ごみ処理機で処理したものは、「生ごみ」?

A. 「燃やすごみ」です。できるだけ、畑などに活用しましょう。

Q. 分別した生ごみはどうなるの?

A. 生ごみは「生ごみバイオガス発電センター」で発酵させ、発生するバイオガスを利用して発電します。発電した電力の一部を同発電センターで使用し、余った電力は電力会社へ送電します。発酵分解されない残りカスは、脱水・乾燥したのち、セメント工場等の燃料として有効利用します。なお、生ごみと一緒に集められた紙おむつ類は、施設で機械分別した後、ごみ焼却施設に運んで焼却します。